

浪江町除染検証委員会が開催されました

7月12日、平成30年度浪江町除染検証委員会が開催されました。昨年度に引き続き4人の委員により検証委員会を進めていきます。

第1回の委員会では、平成29年度浪江町除染結果報告、個別案件の検証を行いました。



【浪江町除染検証委員会委員】 (敬称略)

氏名	所属、役職等
井上 正	財団法人電力中央研究所 名誉研究アドバイザー ※福島県除染アドバイザー
塚田 祥文 (委員長)	福島大学 環境放射能研究所 所長
床次 眞司 (副委員長)	弘前大学被ばく医療総合研究所 所長
宮原 要	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 福島環境安全センター長

問 住民課除染環境係 Tel.0240(34)0228

町内で営業を再開しました



中里美容室

町民の皆さんへ

郡山にてお店を開業いたしました。また、少ない日数ではありますが、浪江町の店舗も営業を再開いたしました。皆さまと再会できる日を楽しみにしております。ぜひお立ち寄りくださいませ。

中里美容室 代表 中里 より子
〒979-1521 浪江町大字権現堂字本城16-16
Tel.090(7662)0592
【営業日】毎週月曜日、
第1・第3日曜日(予約制)

問 産業振興課商工労働係 Tel.0240(34)0247

ここからは広告です。

不動産管理・新築・リフォーム
のことなら ニーズにおまかせ！
お気軽にお電話ください

needs 株式会社 ニーズ浪江支店 0240-35-5833 / 070-2022-6958
浪江町役場北隣・114号線沿い 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田4-1

みんなで
ともに
乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取組をしているのかをお知らせします。

「福島水素エネルギー研究フィールド」の建設工事が始まりました

8月9日、現在造成中の浪江町棚塩産業団地において、福島イノベーション・コースト構想および福島新エネ社会構想に基づく施設である「福島水素エネルギー研究フィールド」の建設工事が着工されました。

この施設は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の事業として、世界最大級の水素製造装置を備えた水素エネルギーシステムが整備されるものです。

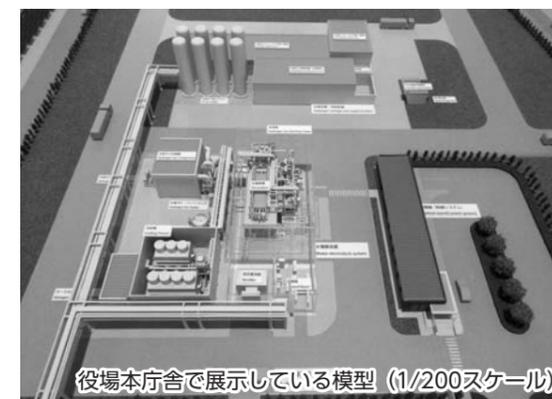
NEDOは2019年10月までに建設工事を完了し、その後、試運転を行いながら、需要に応じて水素を効率的に製造できるシステムを構築します。

ここで製造した水素が2020年の東京オリンピック・パラリンピックで活用されることが見込まれており、浪江町では、今後、水素を始めとした再生可能エネルギーを積極的に活用したまちづくりを一層進めるとともに、浪江町をクリーンエネルギーの先進地として国内外に発信する取組を進めていきます。

また、この施設のことを知っていただくため、役場本庁舎1階に「福島水素エネルギー研究フィールド」の模型を展示し、広報用映像をモニターで流しています。お近くにお越しの際には、ぜひご覧ください。



現在の施工状況



役場本庁舎で展示している模型(1/200スケール)



福島水素エネルギー研究フィールド完成イメージ図

※イメージ図は、今後変更となる場合があります。

問 産業振興課産業創出係 Tel.0240(34)0248

町の農林水産業 再生に向けて

問 農林水産課農政係 TEL 0240(34)0245
問 農林水産課農林水産係 TEL 0240(34)0246

営農再開に向けた 座談会

7月27日、川添地区において、営農再開に向けた座談会



を実施しました。

座談会には、地元農家・農地所有者の方34人が集まり、営農再開に向けての課題出しを中心に話し合いを進め、大型の農機具が無いこと、組織化、耕作不適地の問題など、多くの意見が出されました。また、

現在は団塊の世代が中心となって、地区復興組合の運営や農地の基盤整備などを実施していますが、「若い世代へ地域の農業をつないでいきたい」という意見もありました。

2回目の座談会では、今回出された課題や意向を整理し、営農再開に向けた「今後の方向性」と「必要な対応」について、意見を出し合う予定です。

浪江産トルコギキョウが夏出荷の最盛期を迎えました

加倉地区で営農を再開した荒川勝己さん（荒川園芸）生産のトルコギキョウの夏出荷が、最盛期を迎えています。荒川さんが今年2月に初定植したトルコギキョウは、定植後順調に生育し、今季の出荷を迎えることができました。浪江産トルコギキョウは、東京の大田市場へ出荷されて

おり、(株)フラワーオークションジャパンが浪江町へ直行集荷便を運行し、各生産者の作業場にトラックを横付けして集荷を行っています。荒川さんは今回初めて出荷しますが、トルコギキョウの出荷価格は、まずまずとのこと。今後は、9月から11月にかけてストックや第2期トルコギキョウの定植が始まり、順次出荷される予定です。



農業委員会だより *第12回*

農業委員会の業務について研修しました

7月8日に任命された農業委員および農地利用最適化推進委員を対象に、一般社団法人福島県農業会議から講師を招いて、農業委員会の業務研修会を実施しました。

研修会において、講師から農業委員会の業務や役割の説明がありました。

農業委員会の業務を大別すると、

- ①農地法に基づく許可、農地の利用状況調査など
- ②農地等の利用の最適化
- ③担い手の育成・確保
- ④地域農業の課題解決のため行政機関への意見提出の四つに分けることができます。

特に、新制度においては「②農地等の利用の最適化」が農業委員会の必須業務となり、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進が、今まで以上に求められることとなりました。

今後、農業委員および農地利用最適化推進委員一丸となって、これらの活動に取り組んでまいりますので、町民の皆さまのご協力をお願いいたします。



10月の申請締切日は1日(月)です。

問 農業委員会事務局(農林水産課内) TEL 0240(23)5706